

いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」
に基づく統計量推計結果
(平成26年7月~9月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成27年2月

岩手県 商工労働観光部 観光課

目 次

第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
①延べ人数と実人数について	4
②調査エリアについて	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
①総数	5
②地域別入込客数	5
③月別入込客数	6
④市町村別・月別入込客数	7
⑤地域別・分類別入込客数	10
(3) 観光入込客数(実人数)	11
(4) 観光消費額	14
①観光消費額単価(日帰り宿泊別・県内県外別)	14
②観光消費額(日帰り宿泊別・県内県外別)	16

第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	18
2. 観光客の動向分析	19
(1) 問1 住まいの地域	19
(2) 問2 性別・年代	20
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	21
(4) 問4 訪問の目的	23
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	23
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	24
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	24
(8) 問8 観光地への交通機関	25
(9) 問9 今回の旅行費用について	26

第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要

(1) 調査対象期間

平成26年7月1日～平成26年9月30日（第2四半期）

(2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

(3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

(4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

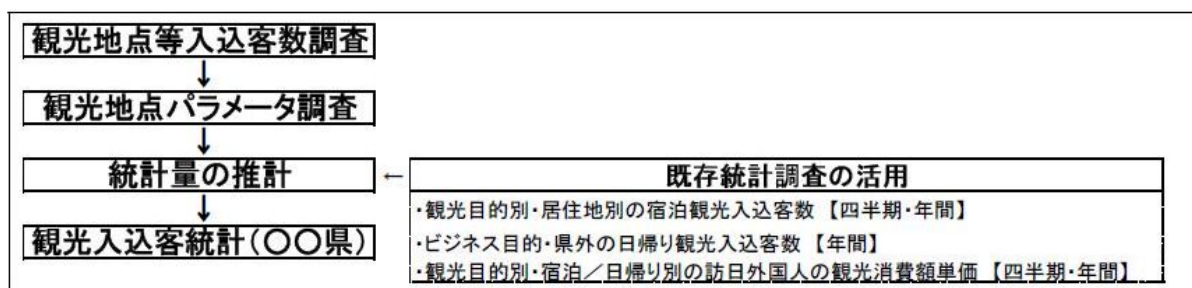


図1 観光入込客統計の調査体系

(5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

(6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

(7) その他

①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。



図2 調査エリア

2. 調査結果

(1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 273、行祭事・イベントが 119 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
273	34	59	77	57	25	21	119

(2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

① 総数

平成 26 年 7 月～9 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 10,237,210 人回となり、前年度比で 96.9%、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 97.2%となった。

② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県央エリアが 3,788,805 人回と最も多く、県北エリアが 1,238,506 人回と最も少ない。前年度比では、沿岸エリアが 104.9%と増加しているものの、その他の地域では前年度を下回っている。県央エリアと県北エリアについては、平成 22 年度比ではそれぞれ 108.7%、117.6%と震災前を超えている。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	7 月	8 月	9 月	平成 26 年度 7-9 期合計	平成 25 年度比	平成 25 年度 7-9 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 7-9 期合計
県央エリア	687,716	2,269,072	832,017	3,788,805	97.2%	3,896,020	108.7%	3,485,788
県南エリア	753,287	1,642,056	1,084,724	3,480,067	95.4%	3,646,593	95.2%	3,655,844
沿岸エリア	480,334	760,624	488,874	1,729,832	104.9%	1,648,691	74.2%	2,332,593
県北エリア	297,379	478,780	462,347	1,238,506	90.0%	1,376,847	117.6%	1,053,219
総計	2,218,716	5,150,532	2,867,962	10,237,210	96.9%	10,568,151	97.2%	10,527,444

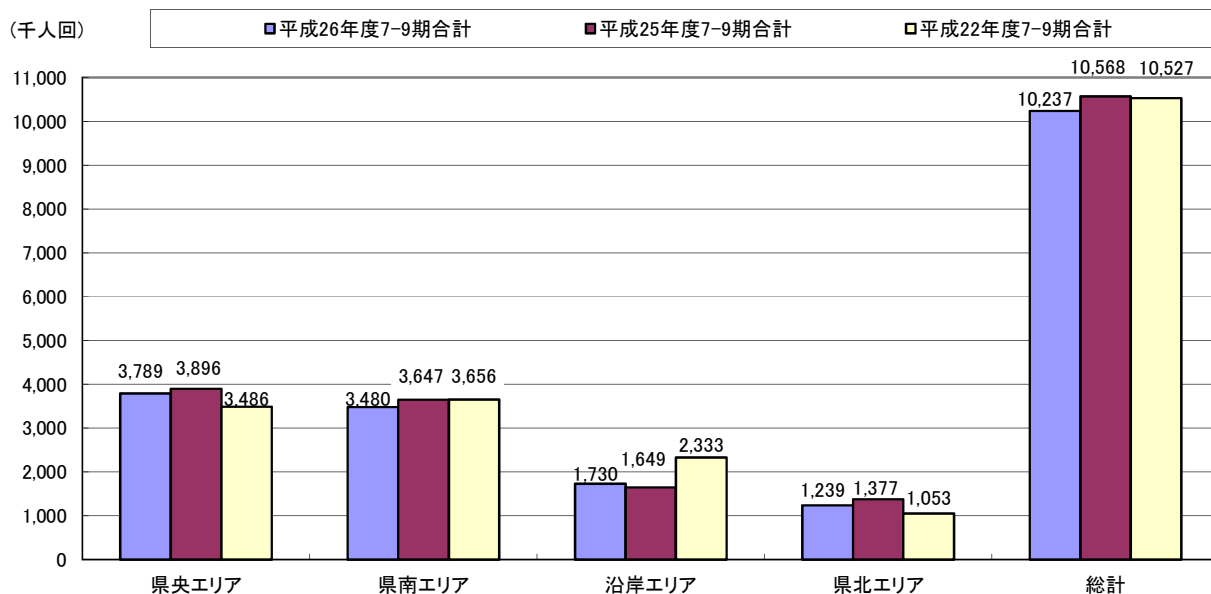


図3 地域別入込客数 (延べ人数から算出)

③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数 (延べ人数) は表3及び図4に示すとおりである。

8月が5,150,532人回と最も多く、夏季休暇や帰省と合わせて増加している。平成25年度比では、7月が93.9%、8月は94.3%、9月は104.6%となっている。平成22年度比では、9月が109.1%と震災前を上回っているが、7月、8月は下回っている。

表3 月別入込客数 (延べ人数)

単位：人回

月	平成26年度	平成25年度比	平成25年度	平成22年度比	平成22年度
7月	2,218,716	93.9%	2,362,283	89.5%	2,477,763
8月	5,150,532	94.3%	5,464,463	95.0%	5,421,121
9月	2,867,962	104.6%	2,741,405	109.1%	2,628,560

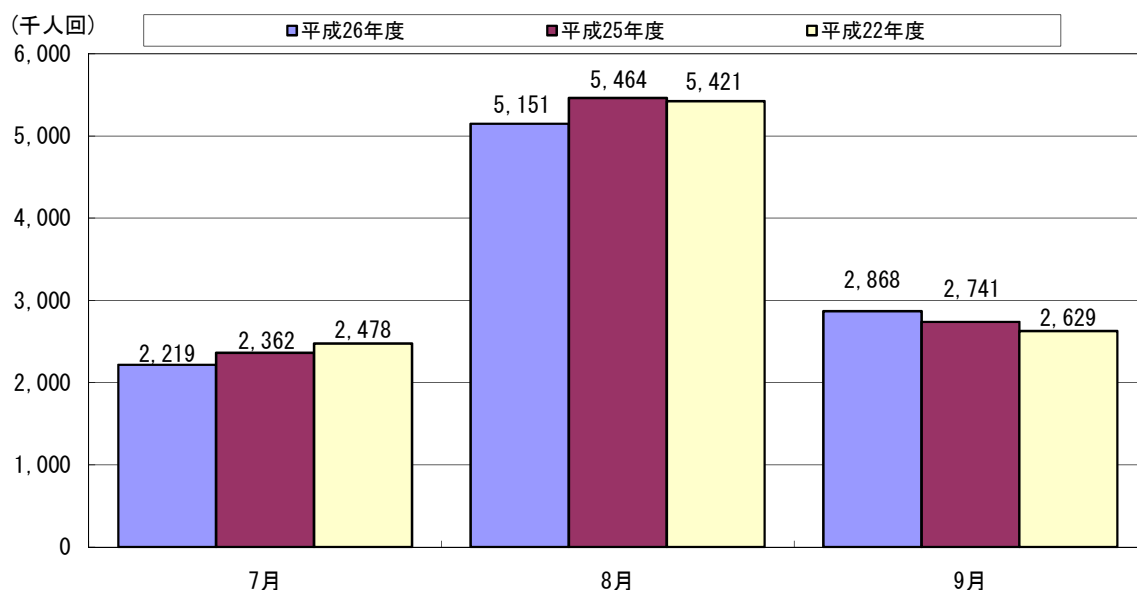


図4 月別入込客数 (延べ人数から算出)

④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2、6-1、6-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは盛岡市の2,174,564人回で、次いで一関市の757,806人回、花巻市の719,354人回となった。また、前年度比では、陸前高田市193.3%、山田町142.7%、軽米町137.9%など、沿岸・県北の市町村の入込客数の増加が目立っている。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

市町村	7月	8月	9月	7-9期合計	平成25年度比	平成25年度7-9期合計	平成22年度比	平成22年度7-9期合計
盛岡市	255,630	1,649,081	269,853	2,174,564	99.4%	2,187,371	105.4%	2,063,990
宮古市	133,853	247,543	144,621	526,017	100.8%	521,852	133.5%	393,895
大船渡市	178,203	188,187	110,419	476,809	103.4%	461,152	109.9%	433,978
花巻市	133,495	294,655	291,204	719,354	91.0%	790,602	94.7%	759,860
北上市	21,190	381,490	55,190	457,870	87.8%	521,734	136.4%	335,700
久慈市	85,988	163,837	186,793	436,618	73.3%	595,347	158.0%	276,270
遠野市	140,085	229,011	202,371	571,467	98.0%	583,167	83.1%	687,357
一関市	196,969	309,015	251,822	757,806	111.2%	681,372	88.8%	853,592
陸前高田市	19,387	58,424	59,849	137,660	193.3%	71,198	26.6%	517,923
釜石市	16,871	32,738	17,268	66,877	65.2%	102,555	22.2%	301,231
二戸市	36,926	52,035	78,451	167,412	100.1%	167,325	93.4%	179,294
八幡平市	120,753	175,958	137,716	434,427	95.4%	455,172	140.5%	309,234
奥州市	87,763	152,779	87,174	327,716	96.4%	339,990	77.0%	425,555
滝沢市	34,861	48,681	57,471	141,013	119.8%	117,718	140.5%	100,371
雫石町	144,467	232,450	205,474	582,391	89.3%	652,286	107.8%	540,321
葛巻町	42,130	52,571	46,728	141,429	100.1%	141,245	99.6%	142,013
岩手町	24,112	32,454	23,906	80,472	72.0%	111,819	121.4%	66,263
紫波町	38,237	62,834	76,928	177,999	106.7%	166,845	100.3%	177,477
矢巾町	27,526	15,043	13,941	56,510	88.9%	63,564	65.6%	86,119
西和賀町	37,160	48,643	39,567	125,370	93.3%	134,364	102.4%	122,462
金ヶ崎町	28,355	32,462	28,289	89,106	101.0%	88,208	98.8%	90,143
平泉町	108,270	194,001	129,107	431,378	85.1%	507,156	113.2%	381,175
住田町	8,194	11,145	8,583	27,922	92.7%	30,111	73.7%	37,867
大槌町	-	-	-	-	-	-	-	96,145
山田町	17,653	23,402	37,872	78,927	142.7%	55,310	83.8%	94,166
岩泉町	45,193	93,555	56,962	195,710	101.4%	193,013	98.5%	198,658
田野畑村	60,980	105,630	53,300	219,910	103.0%	213,500	85.0%	258,730
普代村	4,343	5,314	9,860	19,517	112.6%	17,339	165.8%	11,772
軽米町	8,023	20,571	46,980	75,574	137.9%	54,786	95.0%	79,516
野田村	30,969	39,602	31,679	102,250	98.7%	103,592	108.9%	93,891
九戸村	10,496	12,423	9,536	32,455	104.6%	31,033	156.1%	20,795
洋野町	86,634	96,619	70,276	253,529	101.0%	251,043	106.9%	237,250
一戸町	34,000	88,379	28,772	151,151	96.7%	156,382	97.9%	154,431
総計	2,218,716	5,150,532	2,867,962	10,237,210	96.9%	10,568,151	97.2%	10,527,444

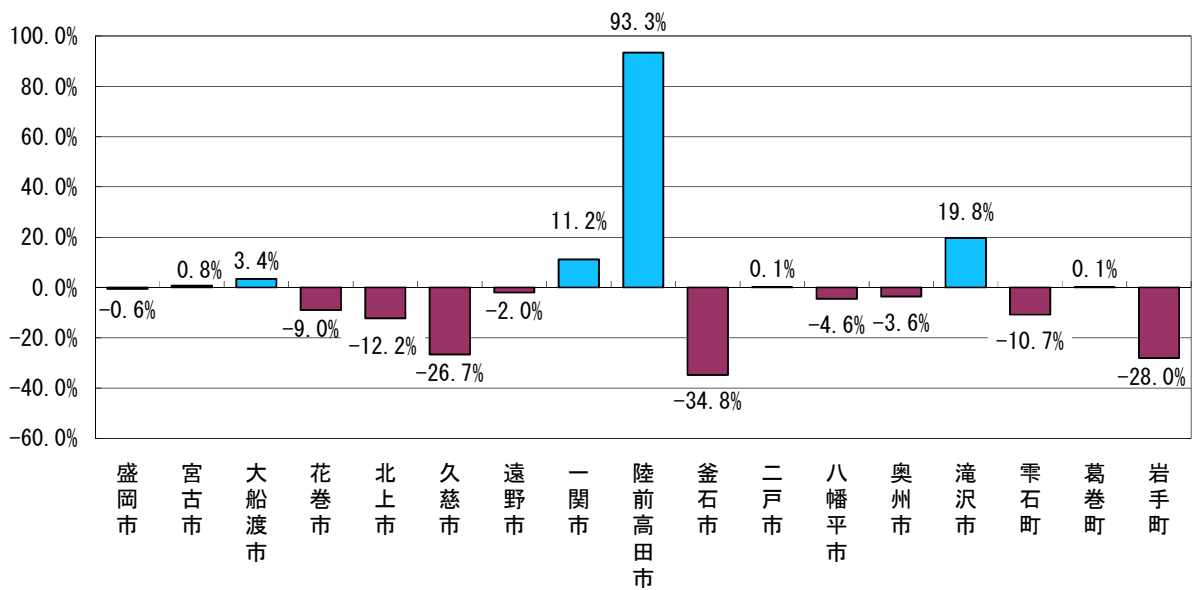


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成25年度増減比(1)

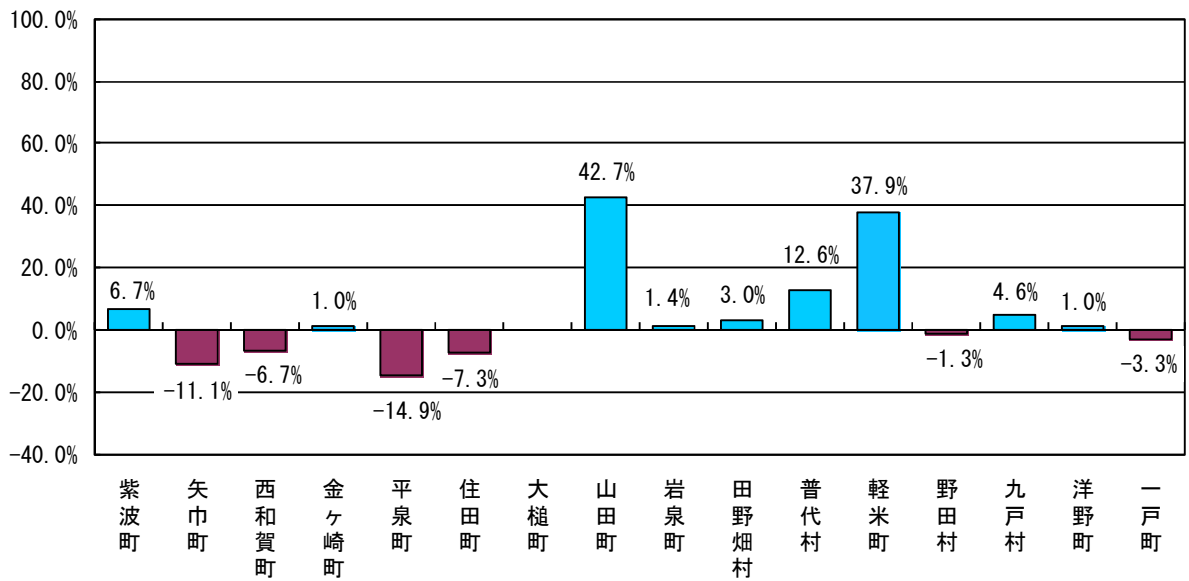


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成25年度増減比(2)

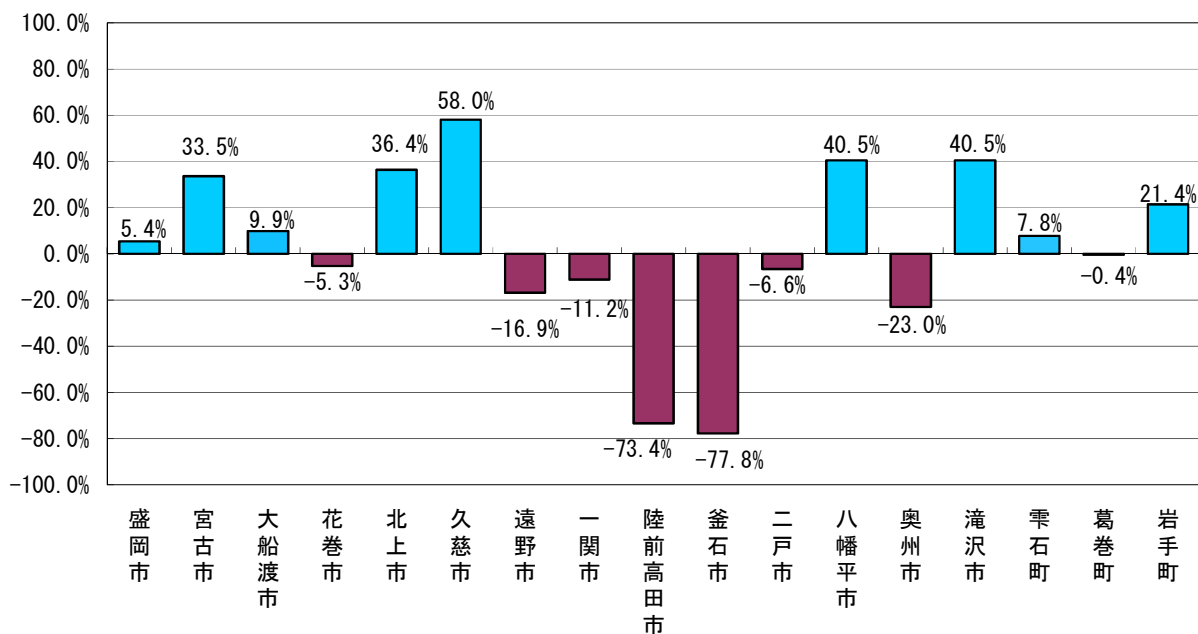


図 6-1 市町村別・月別入込客数 平成 22 年度増減比 (1)

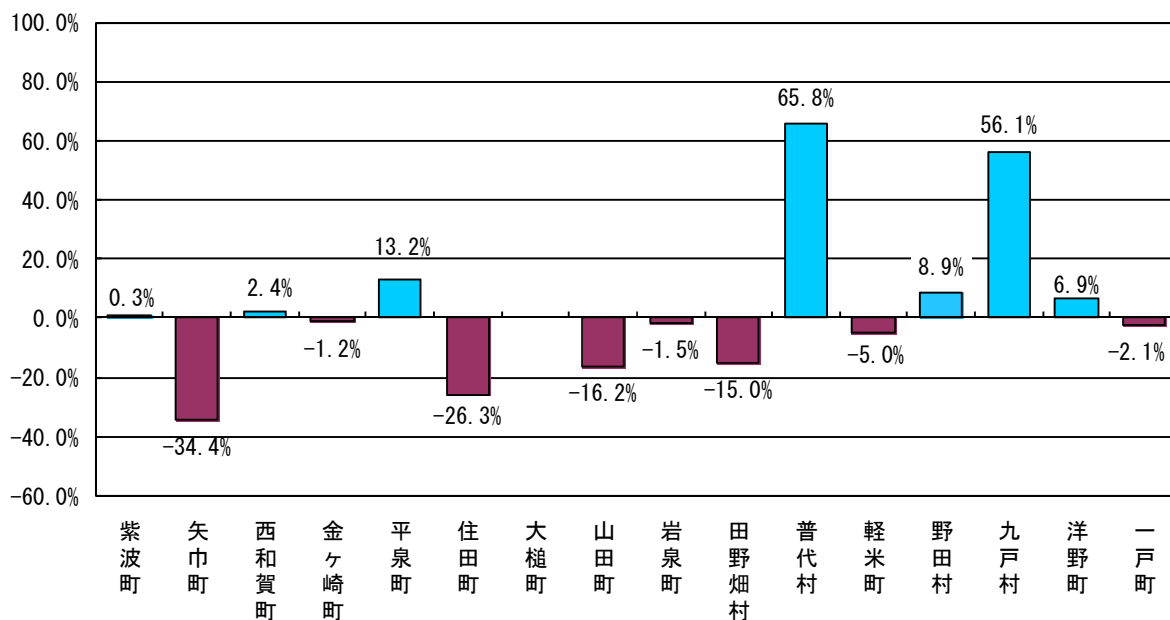


図 6-2 市町村別・月別入込客数 平成 22 年度増減比 (2)

⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表 5 及び図 7 に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「行祭事・イベント」が2,886,560人回と最も多く、県央、県南、県北の3つのエリアで最も多い入込割合を占めている。次いで「自然」の1,943,219人回、「温泉・健康」の1,446,613人回となっている。

表 5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	430,493	294,314	648,807	467,091	98,965	263,235	1,585,900
県南エリア	567,470	650,014	590,590	185,966	578,353	33,011	874,663
沿岸エリア	732,936	47,322	70,089	71,924	188,834	564,827	53,900
県北エリア	212,320	77,996	137,127	42,190	201,182	195,594	372,097
総計	1,943,219	1,069,646	1,446,613	767,171	1,067,334	1,056,667	2,886,560

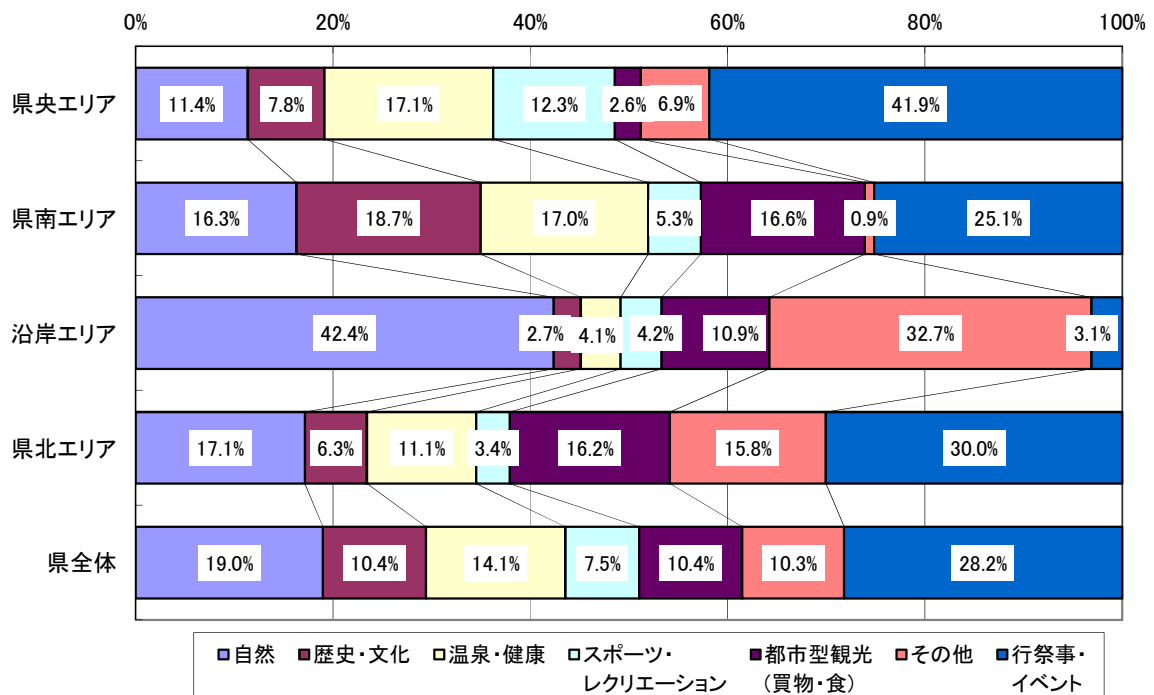


図 7 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

(3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6-1、6-2、7 及び図 8-1、8-2 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

総数は 3,732 千人・回で対前年度比 111.5%となっている。

目的別では、観光目的は対前年度比 109.1%、ビジネス目的は対前年度比 117.8%と増加している。

宿泊・日帰り別では、宿泊は対前年度比 88.9%と前年度を下回っているが、日帰りでは対前年度比 133.4%と大きく増加している。

また、これを県外・県内別でみると、県外が対前年度比 98.2%、県内が対前年度比 134.7%となっている。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目		宿泊			日帰り			7-9 期 合計
		宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的 の入込客数	平成 26 年度 7-9 期合計	777	509	268	1,898	843	1,055	2,675
	平成 25 年度比	77.5%	67.1%	109.8%	131.1%	123.1%	138.3%	109.1%
	平成 25 年度 7-9 期合計	1,003	759	244	1,448	685	763	2,451
	平成 22 年度比	94.8%	93.2%	97.8%	76.6%	86.4%	70.2%	81.1%
	平成 22 年度 7-9 期合計	820	546	274	2,478	976	1,502	3,298
ビジネス目的 の入込客数	平成 26 年度 7-9 期合計	690	437	253	367	300	67	1,057
	平成 25 年度比	106.6%	96.5%	130.4%	146.8%	129.9%	352.6%	117.8%
	平成 25 年度 7-9 期合計	647	453	194	250	231	19	897
	平成 22 年度比	138.0%	120.1%	186.0%	2158.8%	3333.3%	837.5%	204.4%
	平成 22 年度 7-9 期合計	500	364	136	17	9	8	517
合計	平成 26 年度 7-9 期合計	1,467	946	521	2,265	1,143	1,122	3,732
	平成 25 年度比	88.9%	78.1%	118.9%	133.4%	124.8%	143.5%	111.5%
	平成 25 年度 7-9 期合計	1,650	1,212	438	1,698	916	782	3,348
	平成 22 年度比	111.1%	104.0%	127.1%	90.8%	116.0%	74.3%	97.8%
	平成 22 年度 7-9 期合計	1,320	910	410	2,495	985	1,510	3,815

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

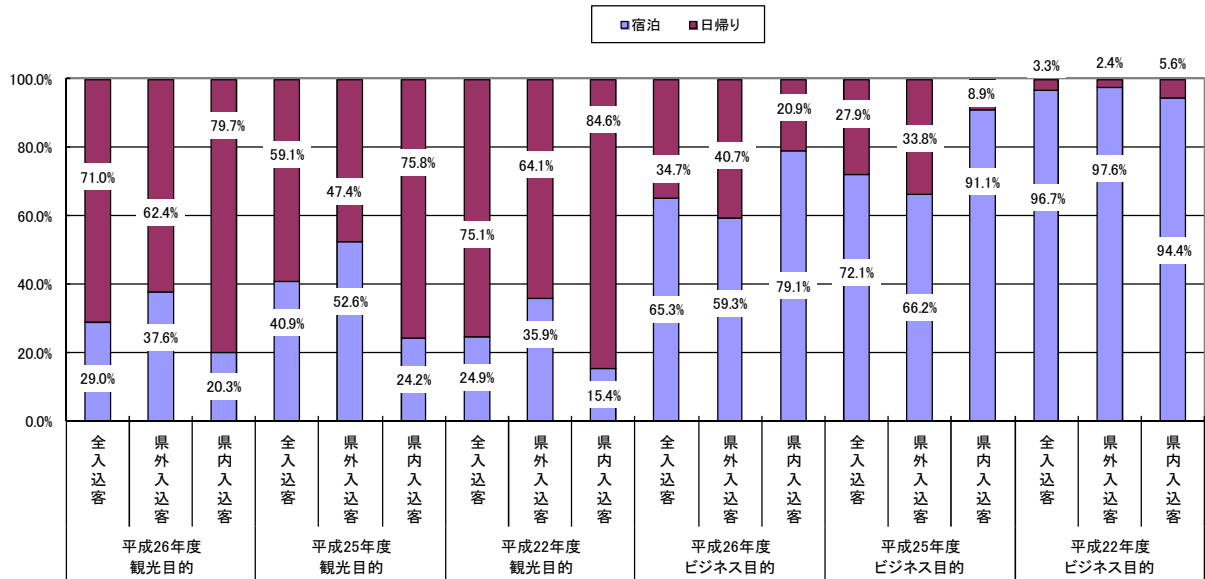


図8-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			7-9期合計	
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り		
観光目的の入込客数	平成26年度7-9期合計	1,352	509	843	1,323	268	1,055	2,675
	平成25年度比	93.6%	67.1%	123.1%	131.4%	109.8%	138.3%	109.1%
	平成25年度7-9期合計	1,444	759	685	1,007	244	763	2,451
	平成22年度比	88.8%	93.2%	86.4%	74.5%	97.8%	70.2%	81.1%
	平成22年度7-9期合計	1,522	546	976	1,776	274	1,502	3,298
ビジネス目的の入込客数	平成26年度7-9期合計	737	437	300	320	253	67	1,057
	平成25年度比	107.7%	96.5%	129.9%	150.2%	130.4%	352.6%	117.8%
	平成25年度7-9期合計	684	453	231	213	194	19	897
	平成22年度比	197.6%	120.1%	3333.3%	222.2%	186.0%	837.5%	204.4%
	平成22年度7-9期合計	373	364	9	144	136	8	517
合計	平成26年度7-9期合計	2,089	946	1,143	1,643	521	1,122	3,732
	平成25年度比	98.2%	78.1%	124.8%	134.7%	118.9%	143.5%	111.5%
	平成25年度7-9期合計	2,128	1,212	916	1,220	438	782	3,348
	平成22年度比	110.2%	104.0%	116.0%	85.6%	127.1%	74.3%	97.8%
	平成22年度7-9期合計	1,895	910	985	1,920	410	1,510	3,815

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

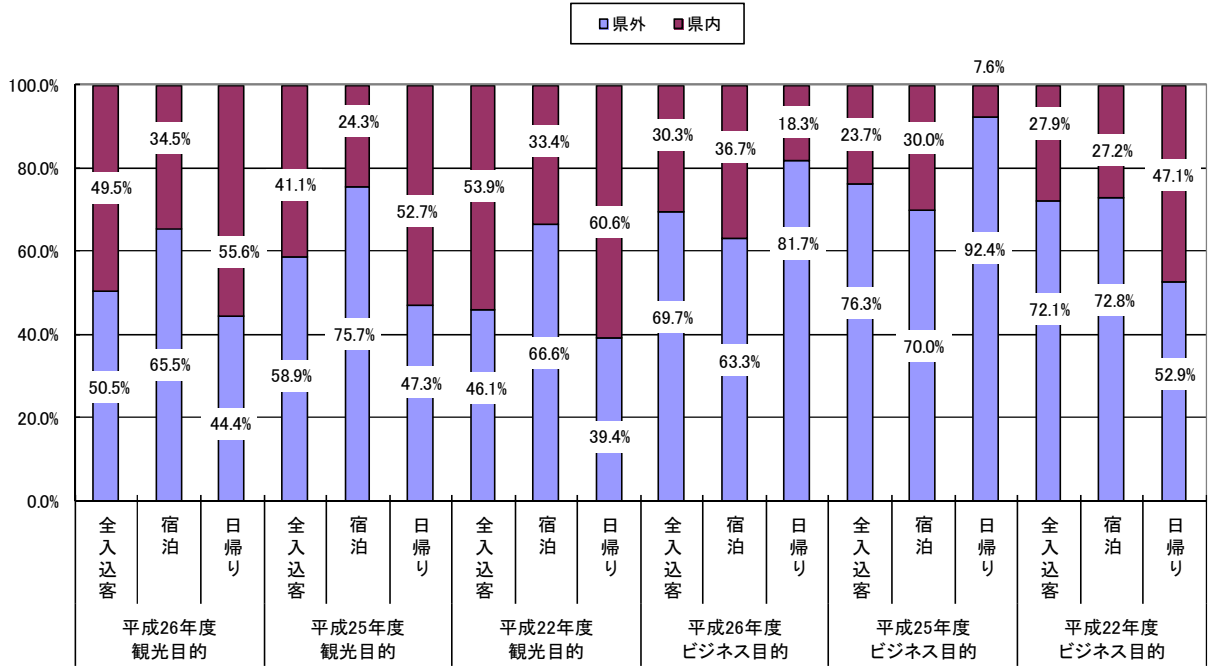


図 8-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れる訪日外国人入込客は表7に示すとおりである。宿泊客は前年度より増加したが(111.1%)、日帰りの来県が減少したため、総数は前年度比26.2%と減少している。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数(実人数)

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
平成 26 年度 7-9 期合計	10	6	4	1	1	-	11
平成 25 年度比	111.1%	100.0%	133.3%	3.0%	3.0%	-	26.2%
平成 25 年度 7-9 期合計	9	6	3	33	33	-	42
平成 22 年度比	66.7%	50.0%	133.3%	-	-	-	73.3%
平成 22 年度 7-9 期合計	15	12	3	-	-	-	15

(4) 観光消費額

① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 9 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的及びビジネス目的の観光消費額単価は表 8 に示すとおりである。

観光目的では、県外の宿泊単価が対前年度比 133.9%、県内の日帰り単価が 116.8%と前年度を上回っている。一方、県外及び県内の宿泊単価、県外の日帰り単価は平成 22 年度を下回っており、震災前の観光消費額単価までは改善していない。

なお、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、ビジネス目的観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目		宿泊		日帰り	
		県外	県内	県外	県内
観光目的	平成 26 年度 7-9 期 観光消費額単価	29,777	16,094	7,095	4,554
	平成 25 年度比	133.9%	80.1%	86.7%	116.8%
	平成 25 年度 7-9 期 観光消費額単価	22,235	20,088	8,186	3,900
	平成 22 年度比	93.6%	73.6%	51.8%	117.3%
	平成 22 年度 7-9 期 観光消費額単価	31,798	21,877	13,690	3,881
ビジネス目的	平成 26 年度 7-9 期 観光消費額単価	24,748	15,008	5,471	4,050
	平成 25 年度比	55.6%	72.6%	123.5%	87.7%
	平成 25 年度 7-9 期 観光消費額単価	44,544	20,674	4,430	4,616
	平成 22 年度比	65.6%	-	24.4%	126.6%
	平成 22 年度 7-9 期 観光消費額単価	37,718	-	22,466	3,200

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

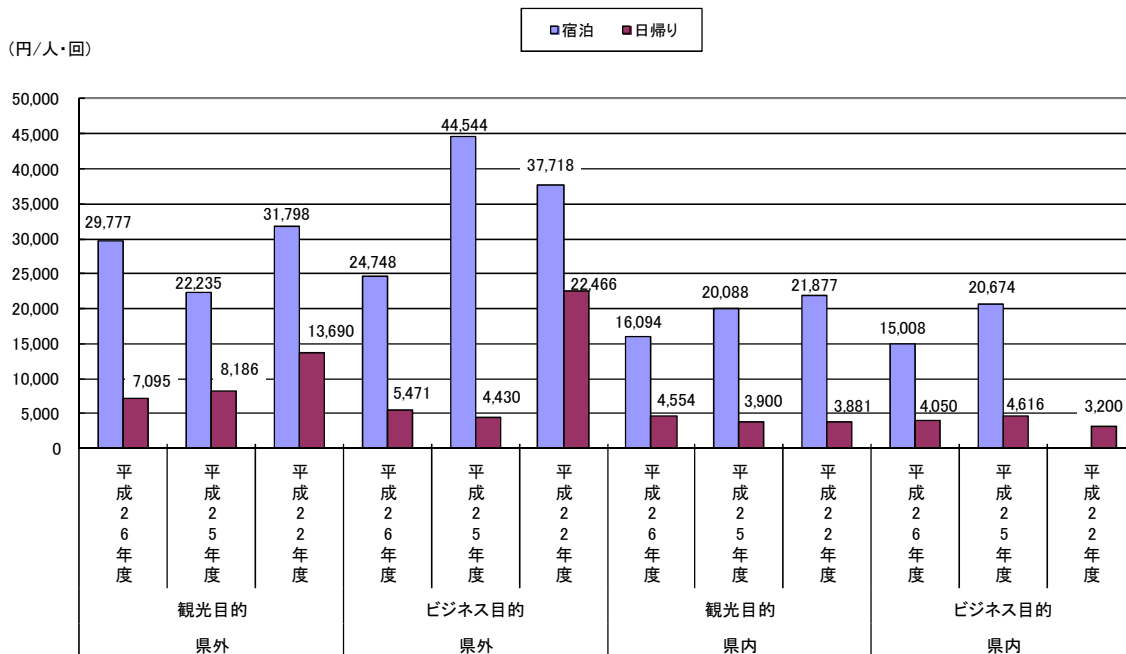


図9 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。
 観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円/人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
平成26年度7-9期 観光消費額単価	57,598	94,542	10,552	11,827
平成25年度比	91.2%	130.4%	71.8%	128.9%
平成25年度7-9期 観光消費額単価	63,156	72,492	14,698	9,176
平成22年度比	130.7%	76.9%	130.1%	145.9%
平成22年度7-9期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 10 に示すとおりである。

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額の総額は対前年度比 84.1%であった。宿泊及び日帰り別では、日帰りは前年度を上回るものの、宿泊は前年度を下回っている。要因として、県外客の宿泊の消費額単価は改善したものの、宿泊総数が減少したことから、観光消費額が前年度を下回る結果となった。

一方、ビジネス目的観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 6-1 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、ビジネス目的の入込客のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きく、割合の増減も大きくなると考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額	
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内		
観光目的	平成 26 年度 7-9 期 観光消費額	19,475	15,158	4,317	10,788	5,984	4,804	30,263
	平成 25 年度比	89.5%	89.9%	88.3%	125.7%	106.7%	161.5%	99.7%
	平成 25 年度 7-9 期 観光消費額	21,761	16,870	4,891	8,583	5,609	2,974	30,344
	平成 22 年度比	83.3%	87.3%	72.0%	56.2%	44.8%	82.4%	71.1%
	平成 22 年度 7-9 期 観光消費額	23,372	17,373	5,999	19,195	13,365	5,830	42,567
ビジネス目的	平成 26 年度 7-9 期 観光消費額	14,612	10,809	3,803	1,912	1,640	272	16,524
	平成 25 年度比	60.4%	53.6%	94.9%	172.3%	160.5%	309.1%	65.4%
	平成 25 年度 7-9 期 観光消費額	24,173	20,164	4,009	1,110	1,022	88	25,283
	平成 22 年度比	106.5%	78.8%	-	846.0%	811.9%	1133.3%	118.5%
	平成 22 年度 7-9 期 観光消費額	13,714	13,714	-	226	202	24	13,940
合計	平成 26 年度 7-9 期 観光消費額	34,087	25,967	8,120	12,700	7,624	5,076	46,787
	平成 25 年度比	74.2%	70.1%	91.2%	131.0%	115.0%	165.8%	84.1%
	平成 25 年度 7-9 期 観光消費額	45,934	37,034	8,900	9,693	6,631	3,062	55,627
	平成 22 年度比	91.9%	83.5%	135.4%	65.4%	56.2%	86.7%	82.8%
	平成 22 年度 7-9 期 観光消費額	37,086	31,087	5,999	19,421	13,567	5,854	56,507

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

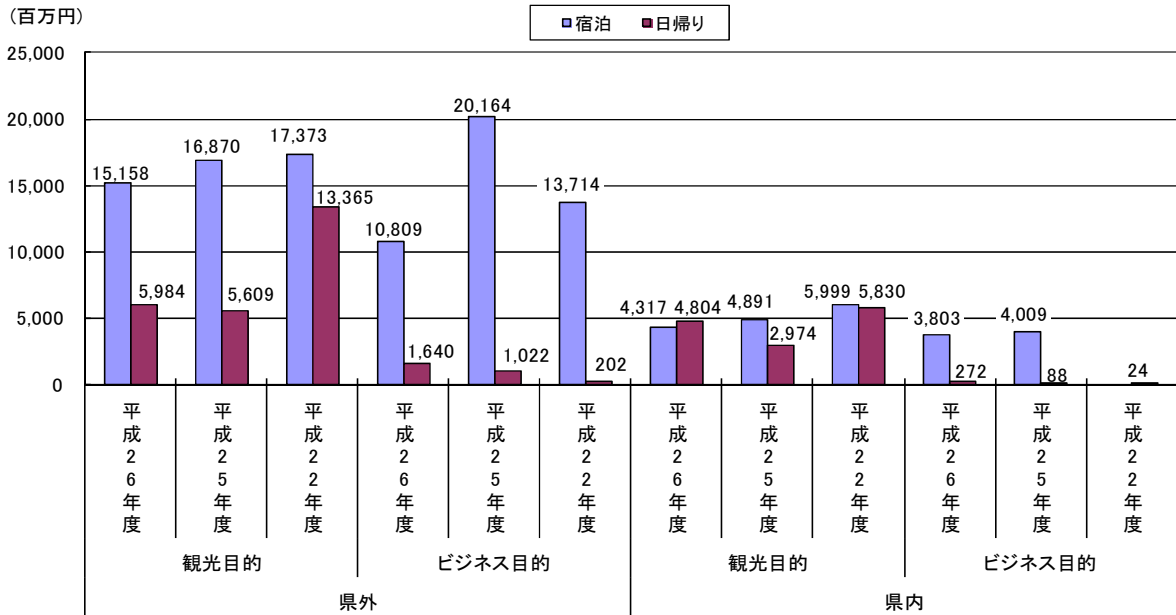


図 10 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 25 年度比 70.4%、平成 22 年度比 86.5%である。また、宿泊総額では、平成 25 年度比 125.9%、平成 22 年度比 85.0%である。

一方、観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 7 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいと考えられる。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
平成 26 年度 7-9 期 観光消費額	740	346	394	13	13	-	753
平成 25 年度比	125.9%	87.4%	205.2%	2.7%	2.7%	-	70.4%
平成 25 年度 7-9 期 観光消費額	588	396	192	482	482	-	1,070
平成 22 年度比	85.0%	64.0%	119.4%	-	-	-	86.5%
平成 22 年度 7-9 期 観光消費額	871	541	330	-	-	-	871

第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成26年8～9月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所を実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 881件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	9/13	112	797
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	9/7	76	413
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	9/14	102	330
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	8/23	89	381
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	8/24	76	310
えさし藤原の郷	奥州市	県南地域	8/24	75	401
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	9/13, 9/14	84	421
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	9/6, 9/7	97	339
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	8/30, 8/31	100	502
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	8/30, 8/31	70	422
合計				881	4,316

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

2. 観光客の動向分析

(1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の約4割(38.3%)は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約6割(61.7%)である。

なお、海外からの来訪者は1人(0.1%)であった。

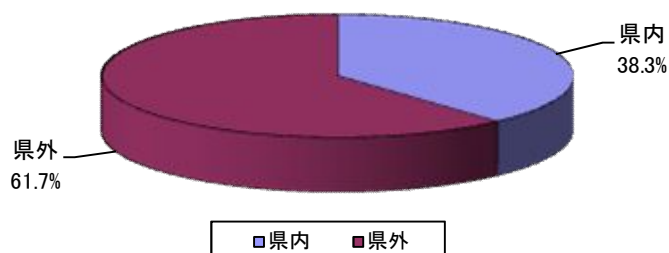


図11 地域別・分類別入込割合(延べ人数から算出)

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。

県外客で最も人数が多いのは青森県(17.9%)、次いで宮城県(15.2%)、東京都(12.8%)、秋田県(9.6%)であり、これらの4都県で5割以上(55.5%)を占めている。

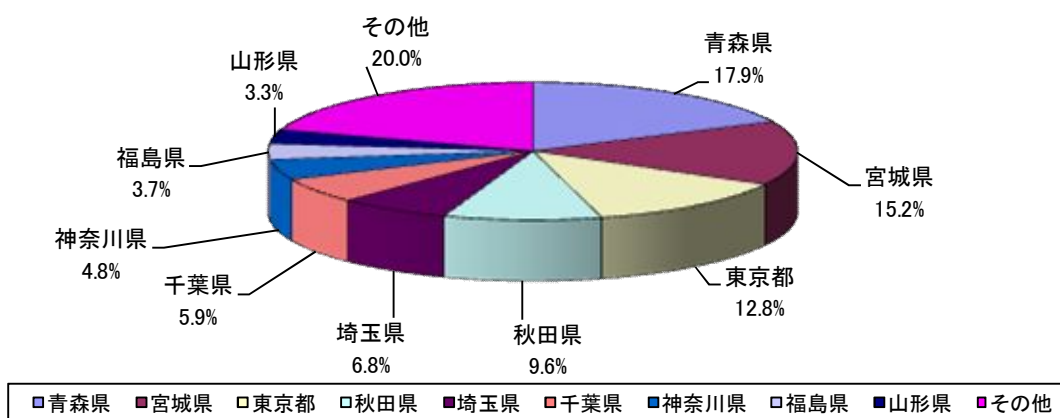


図12 県外客の住まいの地域(岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く)

表13 各県当たり観光客数および比率(岩手県及び来訪者0人の県を除く)

青森県	宮城県	東京都	秋田県	埼玉県	千葉県	神奈川	福島県	山形県	茨城県	大阪府	愛知県
97	82	69	52	37	32	26	20	18	13	13	11
17.9%	15.2%	12.8%	9.6%	6.8%	5.9%	4.8%	3.7%	3.3%	2.4%	2.4%	2.0%
群馬県	新潟県	北海道	栃木県	京都府	静岡県	長野県	宮崎県	富山県	福井県	三重県	岐阜県
9	9	8	8	6	5	3	3	2	2	2	2
1.7%	1.7%	1.5%	1.5%	1.1%	0.9%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
兵庫県	山梨県	石川県	和歌山	奈良県	福岡県	佐賀県	大分県	鹿児島	沖縄県	海外	
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	

(2) 問2 性別・年代

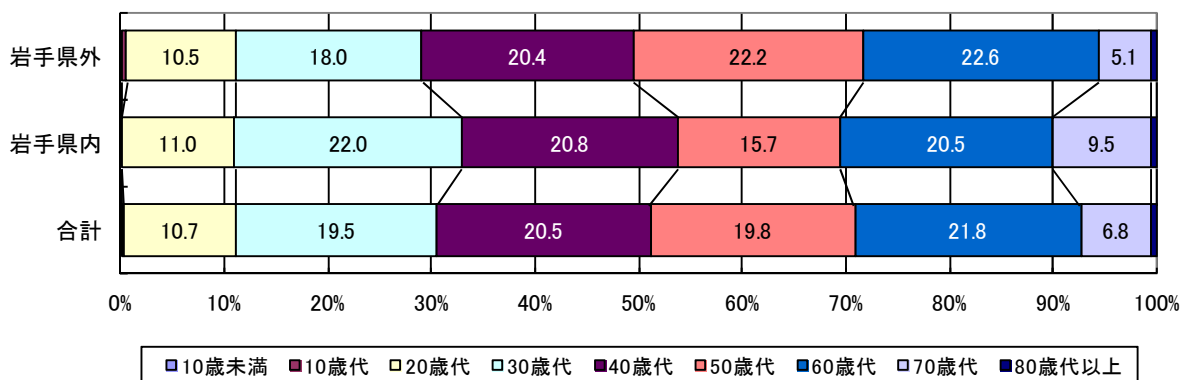
問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図13である。この図より、性別の構成をみると男性が多い(54.8%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、岩手県外来訪者は「60歳代」が最も多いことがわかる(岩手県外:22.6%)。また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、40歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内:67.1%、岩手県外:70.9%)



図13 来訪者の性別



	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
合計	0.0%	0.3%	10.7%	19.5%	20.5%	19.8%	21.8%	6.8%	0.6%
岩手県内	0.0%	0.0%	11.0%	22.0%	20.8%	15.7%	20.5%	9.5%	0.6%
岩手県外	0.0%	0.6%	10.5%	18.0%	20.4%	22.2%	22.6%	5.1%	0.6%

図14 岩手県内/外来訪者の年代構成(比率)

(3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を、日帰り・宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図15である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（52.2%）と宿泊（47.8%）であった。

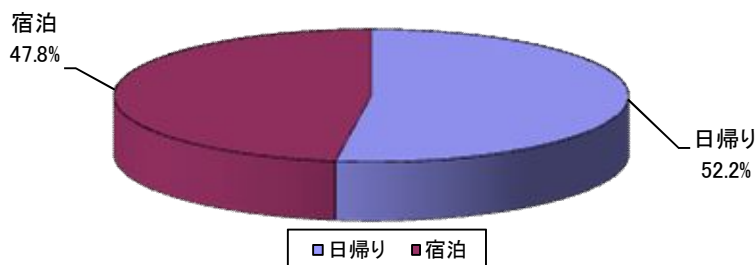


図15 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図16、17である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の約5割（48.5%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が6割以上であった。（66.0%）

※宿泊数平均 2.6(泊) 県内宿泊数平均 1.5(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類数を集計しグラフ化したのが図18である。

この図より、岩手県内の宿泊者の約9割（93.5%）は、宿泊施設の種類数は「1種類」であった。

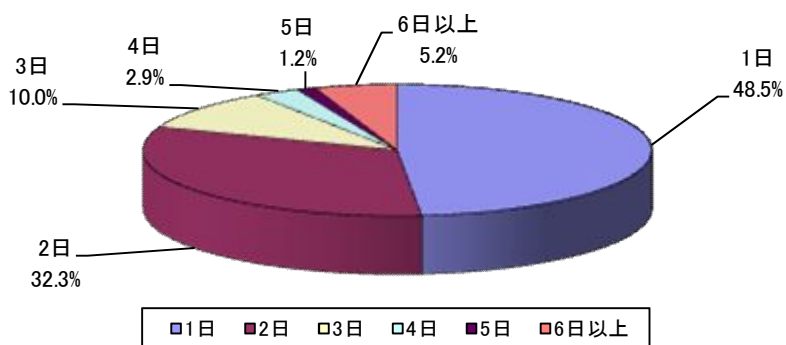


図16 宿泊数（全日程）

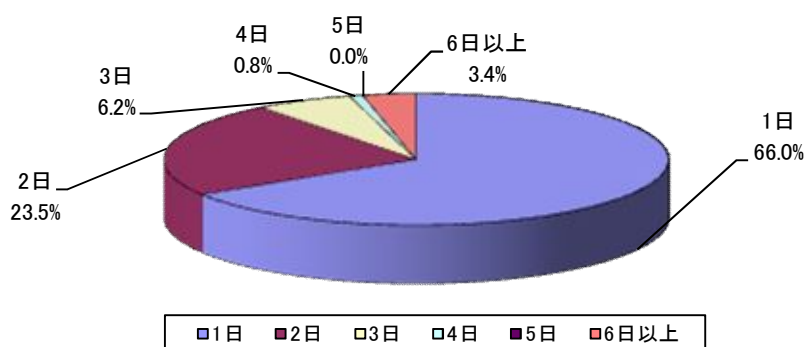


図17 岩手県内宿泊数

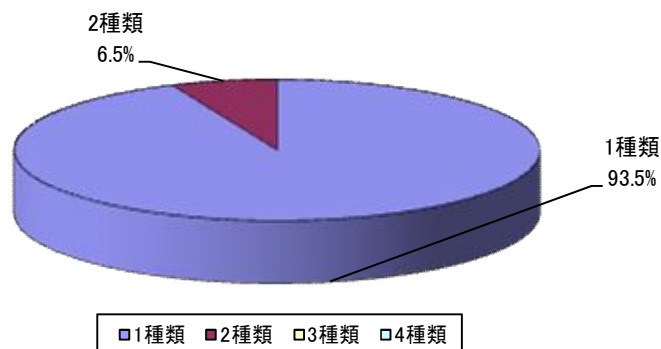


図 18 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(56.1%) が最も多く、次いで「旅館」(18.1%) である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(16.0%) であり、これら以外の宿泊施設利用は 9.9%であった。

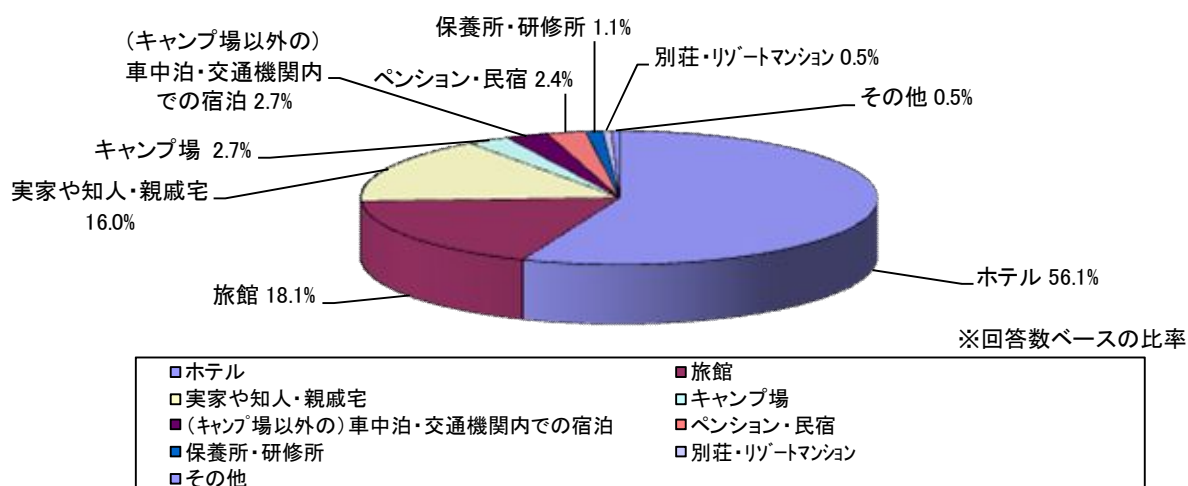


図 19 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

ホテル	旅館	実家や知人・親戚宅	キャンプ場	(キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊
56.1%	18.1%	16.0%	2.7%	2.7%
211 人	68 人	60 人	10 人	10 人
ペンション・民宿	保養所・研修所	別荘・リゾートマンション	その他	
2.4%	1.1%	0.5%	0.5%	
9 人	4 人	2 人	2 人	

(4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図 20 である。訪問の目的は「観光」が約 8 割を占めており（82.7%）、次いで「帰省・知人訪問」（7.6%）、「ビジネス」（2.0%）である。

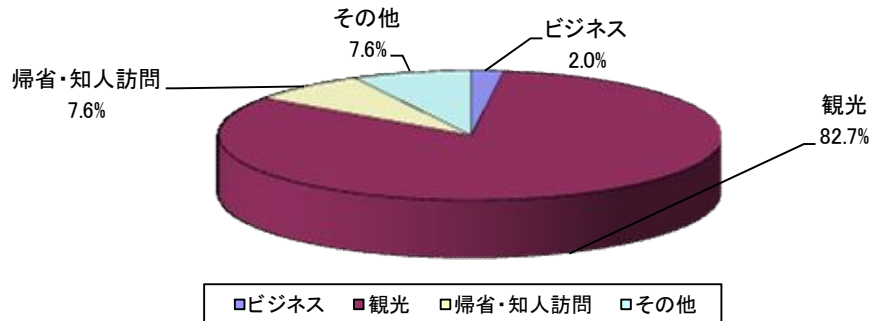


図 20 訪問の目的

(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 21 である。旅行人数が最も多かったのは「2人」（32.0%）であり、次いで「3人」（20.7%）、「5-10人」（17.5%）であった。

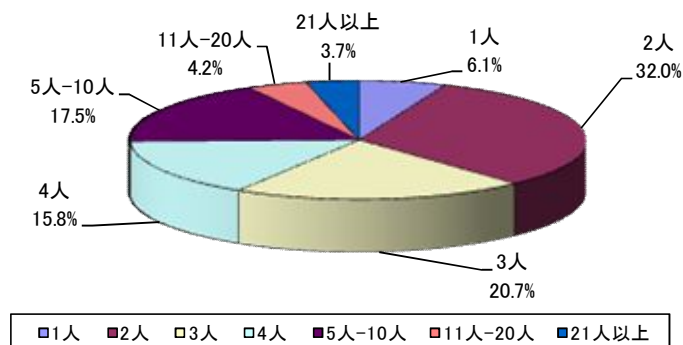


図21 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 22 である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（74.4%）で、回答者全体の 7 割強を占めた。次いで「友人」（15.8%）、「職場・学校等の団体旅行」（4.7%）である。

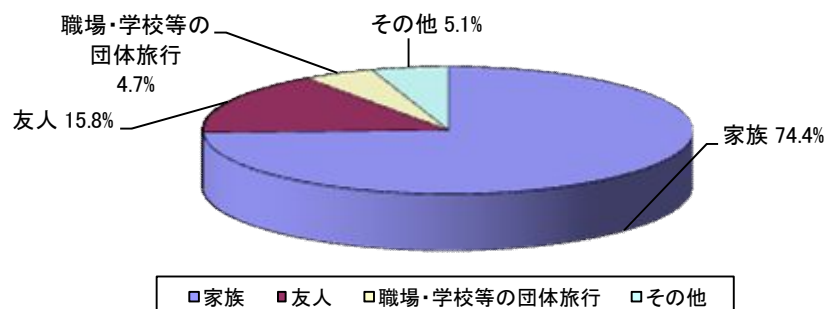


図22 同行者のタイプ

(6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6は、岩手県内観光地への訪問経験の認知に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち約9割（89.3%）が「知っている」と回答した。

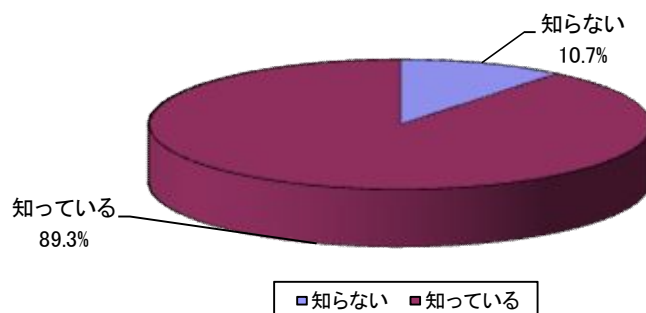


図23 観光地訪問の認知

(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数（岩手県外の方のみ対象の設問）

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、8割強（85.8%）の来訪者が「知っている」と回答した。

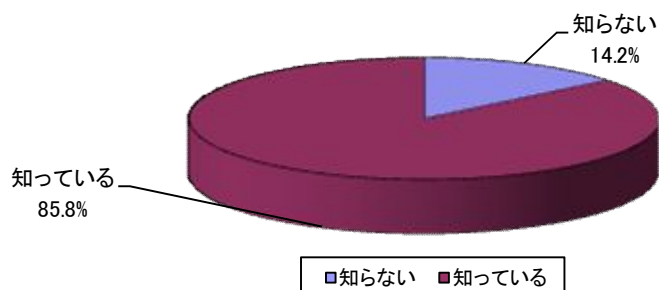


図24 岩手県訪問の認知（岩手県外来訪者）

(8) 問8 観光地への交通機関及び立寄り観光地

<観光地への交通機関>

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。

この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(74.6%)であり、次いで「JR新幹線」(13.7%)、「貸切バス・観光バス」(4.9%)であった。この上位3位で全体の約9割(93.2%)を占めている。

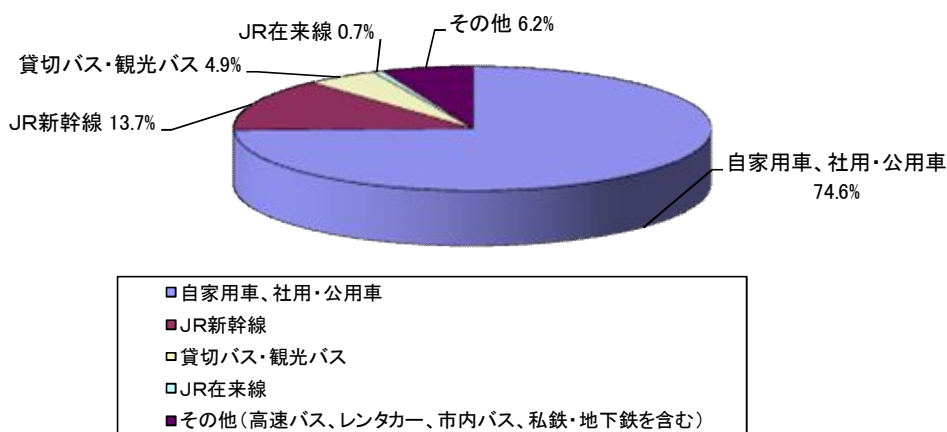


図25 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳(比率)

自家用車、社用・公用車	J R新幹線	貸切バス・観光バス	その他
74.6%	13.7%	4.9%	4.8%
J R在来線	高速バス	レンタカー	市内バス
0.7%	0.6%	0.5%	0.2%
私鉄・地下鉄	タクシー・ハイヤー	モノレール	市内電車
0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

(9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外における交通費を集計したグラフが図28、29である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の約7割（68.2%）が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の約9割（87.8%）を占めているのに対し、県外からの来訪者は5割強（56.1%）にとどまり、約4割（43.9%）は2,000円以上を支出している。

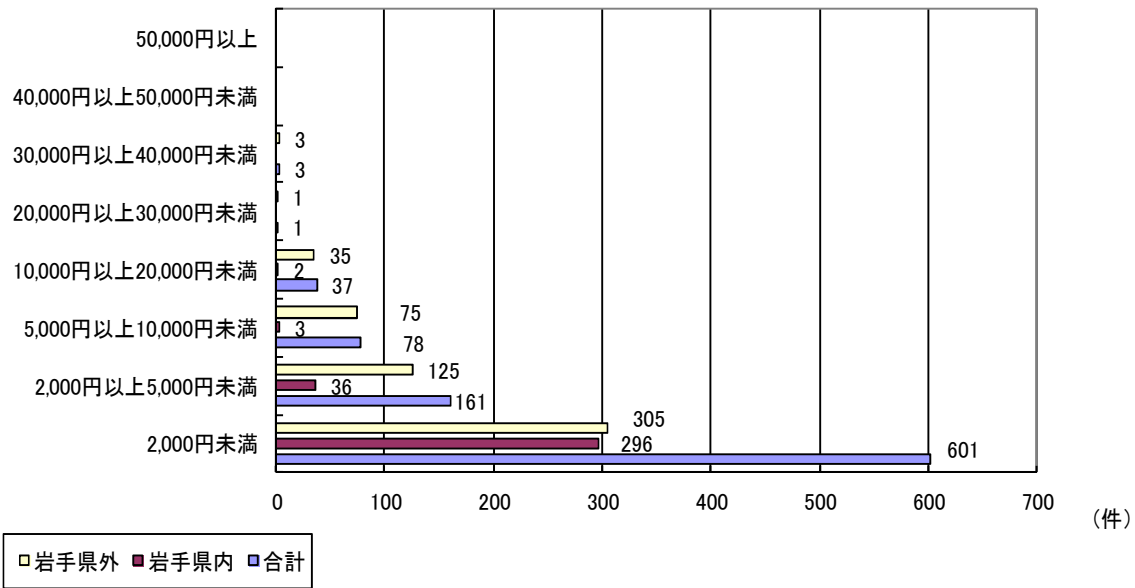


図26 岩手県内/外旅行費用の比較 (岩手県内交通費・件数)

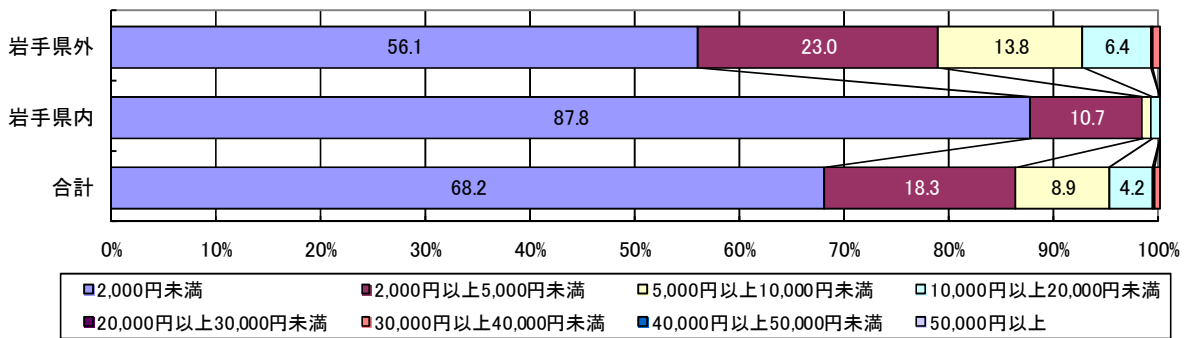


図27 岩手県内/外旅行費用の比較 (岩手県内交通費・比率)

	2,000円未満	2,000円以上5,000円未満	5,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上30,000円未満	30,000円以上40,000円未満	40,000円以上50,000円未満	50,000円以上
合計	68.2%	18.3%	8.9%	4.2%	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%
岩手県内	87.8%	10.7%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	56.1%	23.0%	13.8%	6.4%	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の約5割（53.1%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者ではこの価格帯で9割以上（97.9%）を占めるものの、県外からの来訪者では2割強（25.4%）となっている。県内からの来訪者の多くが岩手県内のみの旅程であることが窺える。

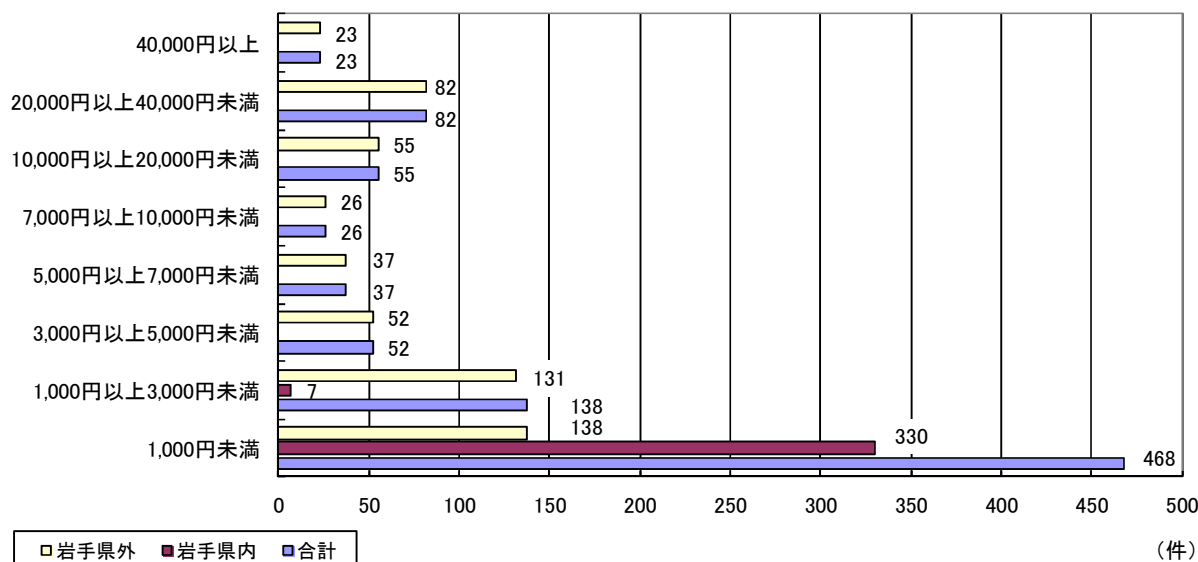
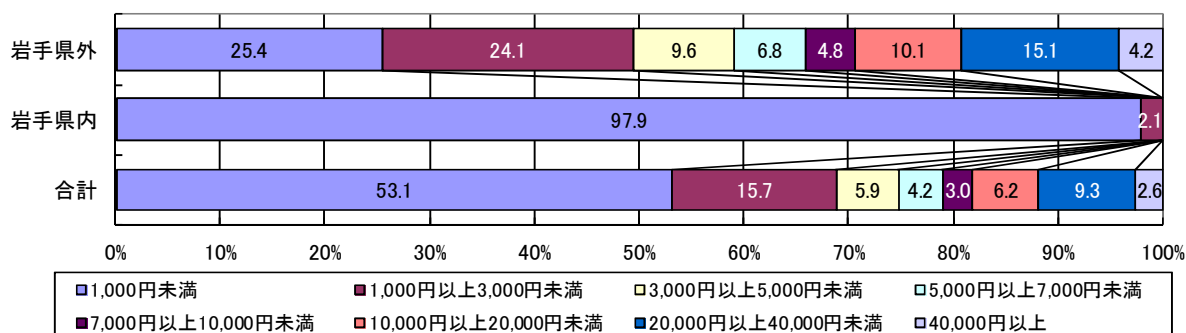


図28 岩手県内/外交通費比較 (岩手県外・件数)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	53.1%	15.7%	5.9%	4.2%	3.0%	6.2%	9.3%	2.6%
岩手県内	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	25.4%	24.1%	9.6%	6.8%	4.8%	10.1%	15.1%	4.2%

図29 岩手県内/外交通費比較 (岩手県外・比率)

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。

宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が約5割（52.2%）を占めていることに所因する。

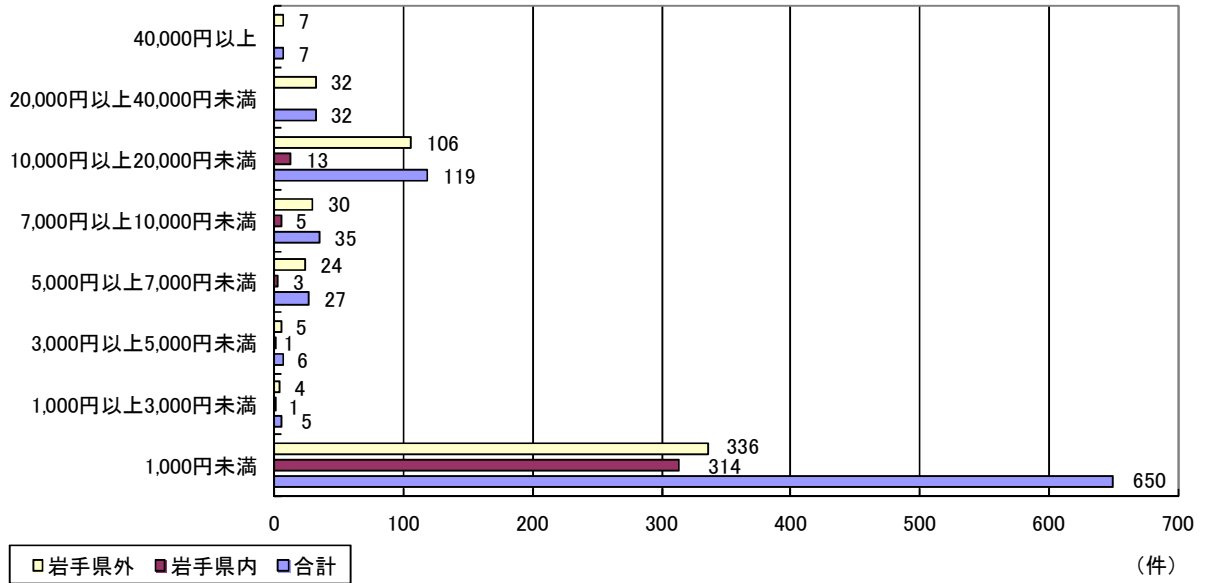
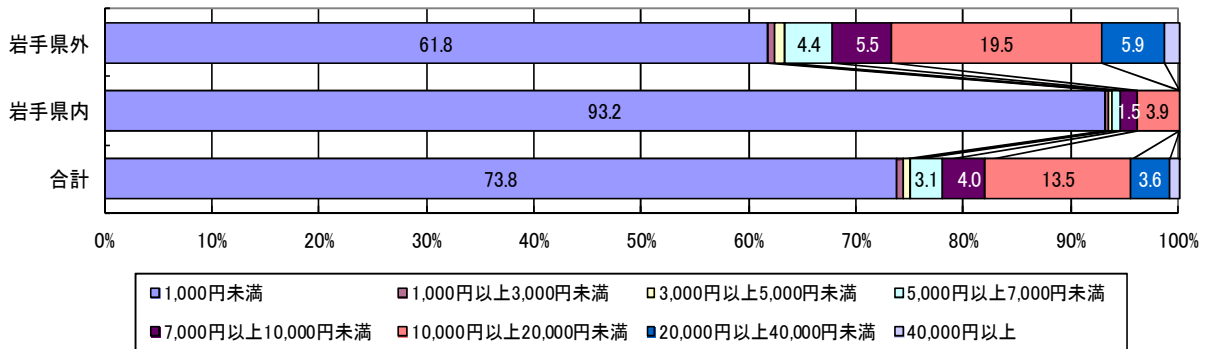


図30 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	73.8%	0.6%	0.7%	3.1%	4.0%	13.5%	3.6%	0.8%
岩手県内	93.2%	0.3%	0.3%	0.9%	1.5%	3.9%	0.0%	0.0%
岩手県外	61.8%	0.7%	0.9%	4.4%	5.5%	19.5%	5.9%	1.3%

図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックツアー利用者を除いて再集計しグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上20,000円未満」に2つのピークがあり、前者が約3割、後者が約4割であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の16.0%が影響しているものと思われる。

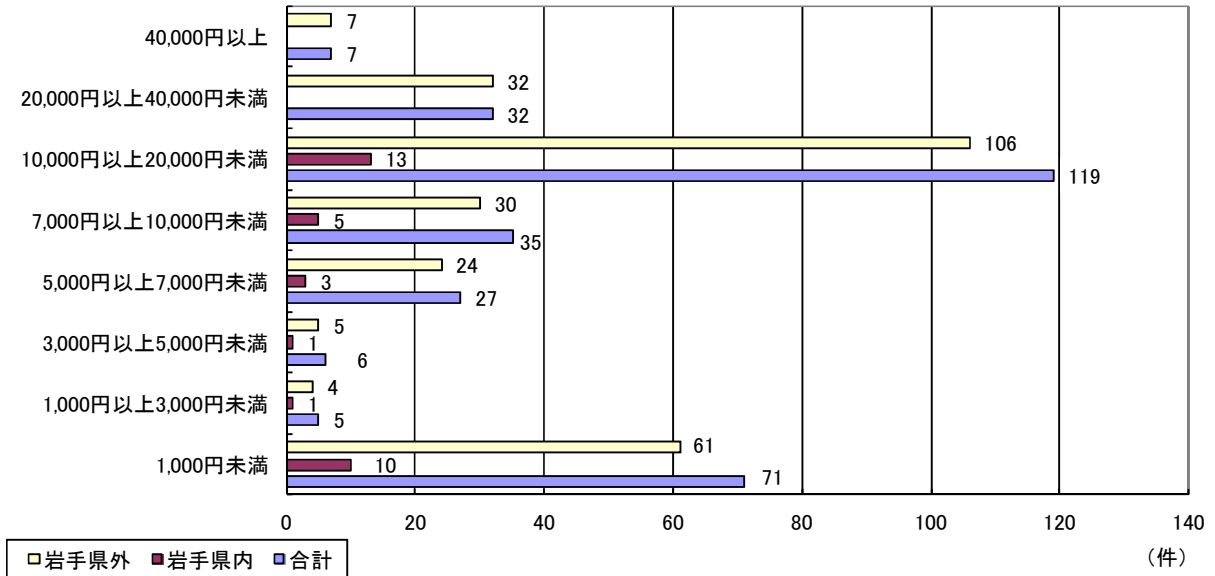
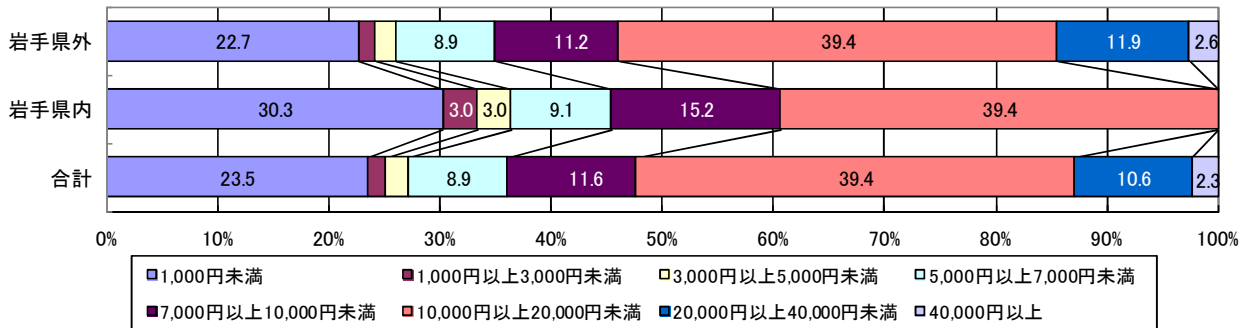


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	23.5%	1.7%	2.0%	8.9%	11.6%	39.4%	10.6%	2.3%
岩手県内	30.3%	3.0%	3.0%	9.1%	15.2%	39.4%	0.0%	0.0%
岩手県外	22.7%	1.5%	1.9%	8.9%	11.2%	39.4%	11.9%	2.6%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)

本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したものが図32、33である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上3,000円未満」が41.5%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は約9割（92.3%）となり、県外からの来訪者は約5割（53.3%）にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった（県内来訪者：7.8%、県外来訪者：46.7%）。

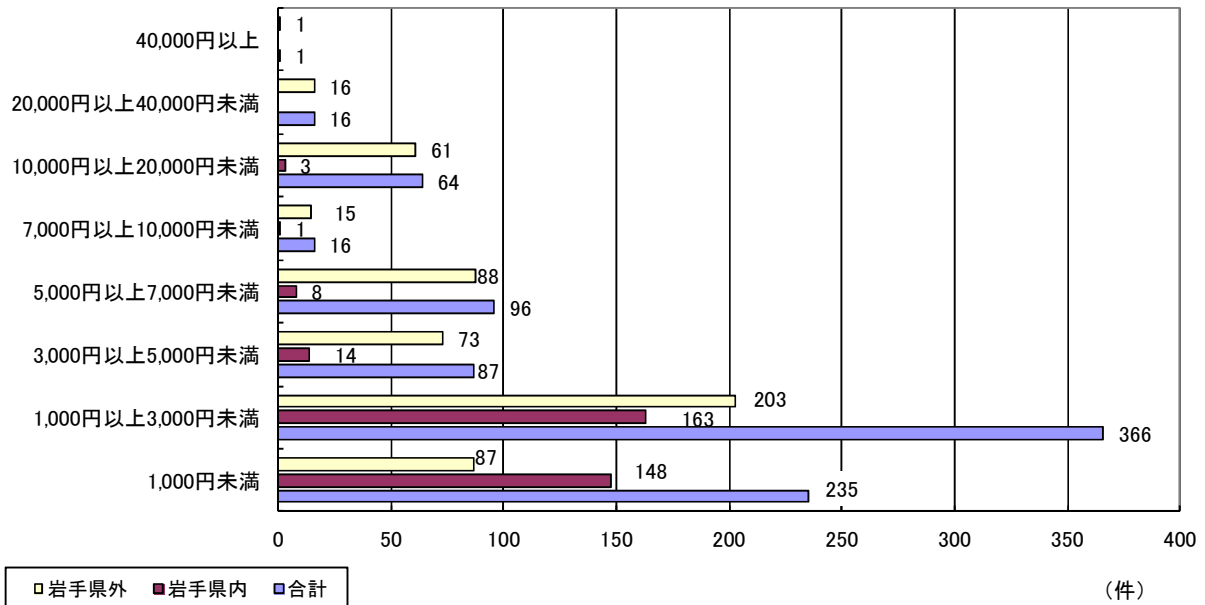


図32 岩手県内/外旅行費用の比較（土産代・件数）

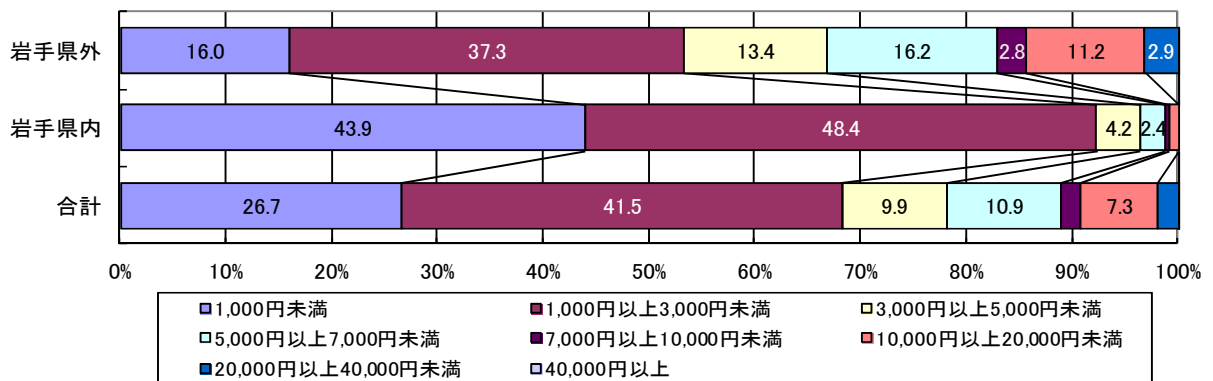


図33 岩手県内/外旅行費用の比較（土産代・比率）

本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。

この図より、1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上3,000円未満」が56.8%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「7,000円以上 10,000円未満」がほぼ支出の上限であり、10,000円以上の価格帯では、県外からの来訪者のみであった（県内来訪者：0件、県外来訪者：44件）。

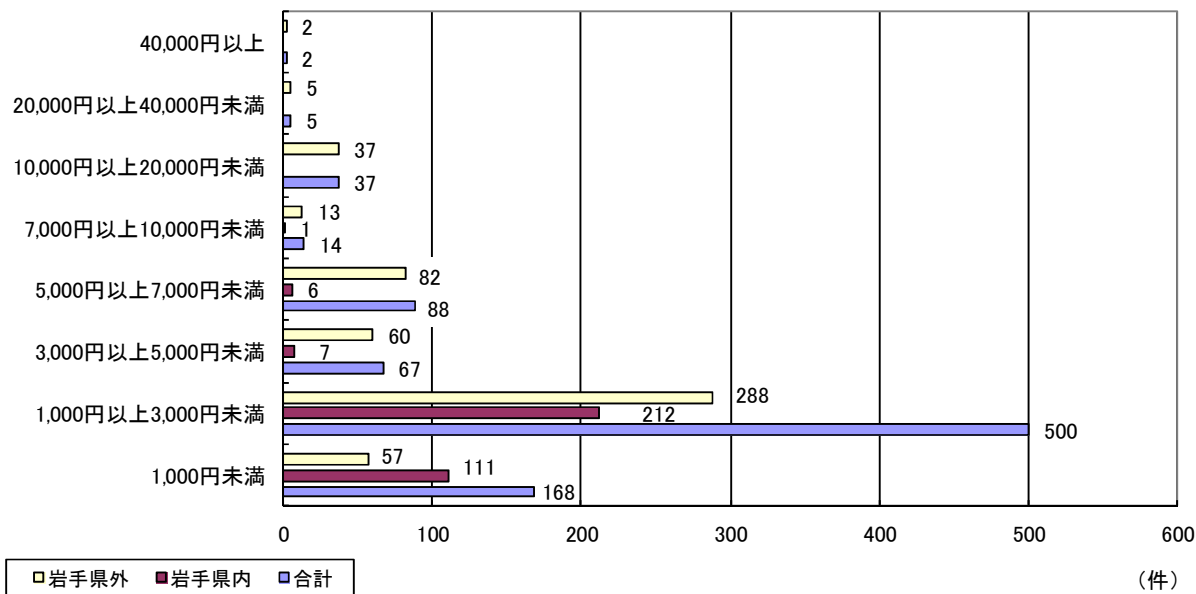
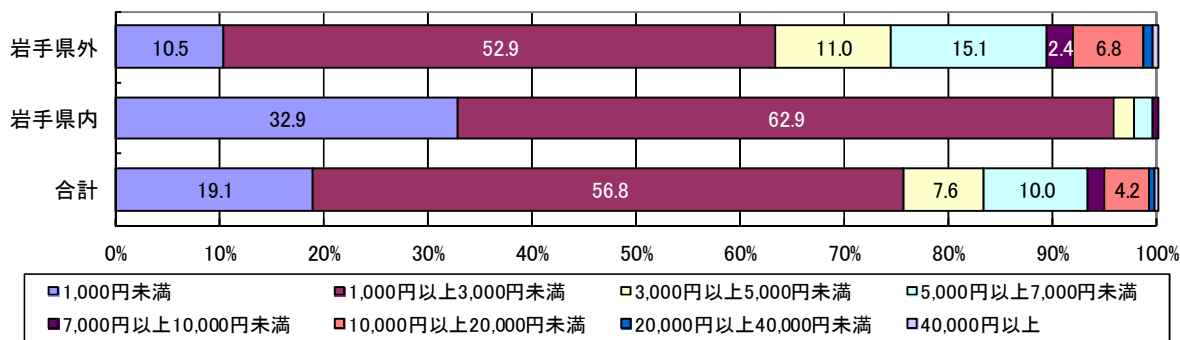


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	19.1%	56.8%	7.6%	10.0%	1.6%	4.2%	0.6%	0.2%
岩手県内	32.9%	62.9%	2.1%	1.8%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	10.5%	52.9%	11.0%	15.1%	2.4%	6.8%	0.9%	0.4%

図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問より、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したものが図36、37である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：99.7%、県外来訪者：97.7%）。

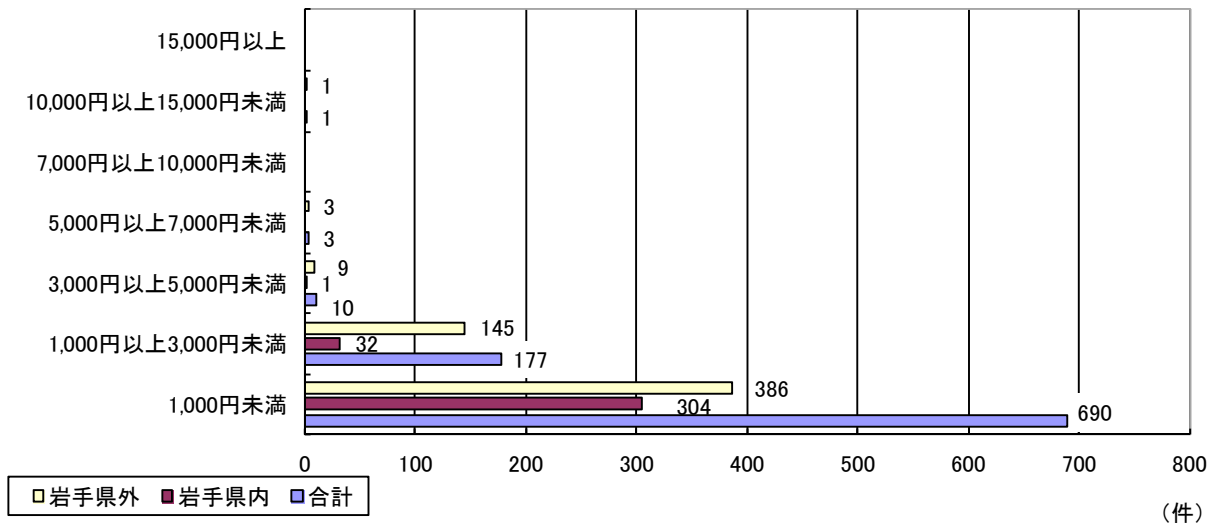
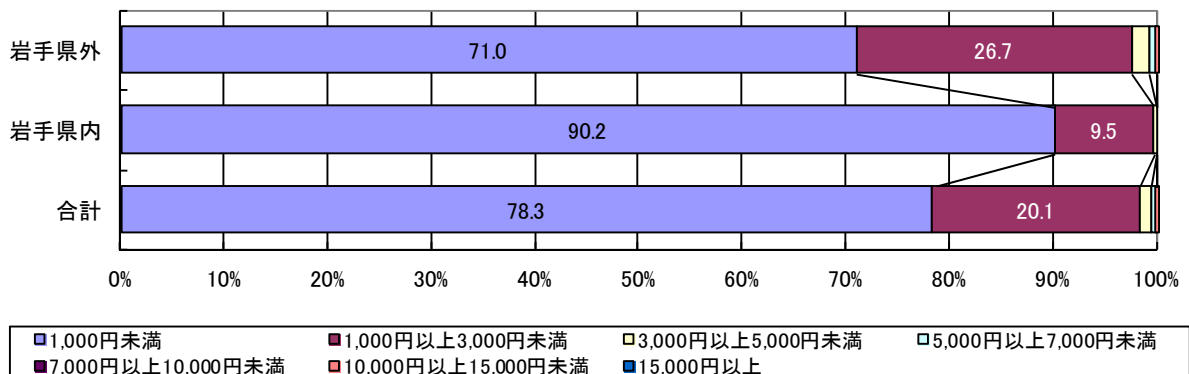


図36 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	78.3%	20.1%	1.1%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%
岩手県内	90.2%	9.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	71.0%	26.7%	1.7%	0.6%	0.0%	0.2%	0.0%

図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問より、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したものが図38、39である。

この図より、1人当たりのその他費用は、合計では「1,000円未満」が99.3%と、約10割を占めている。

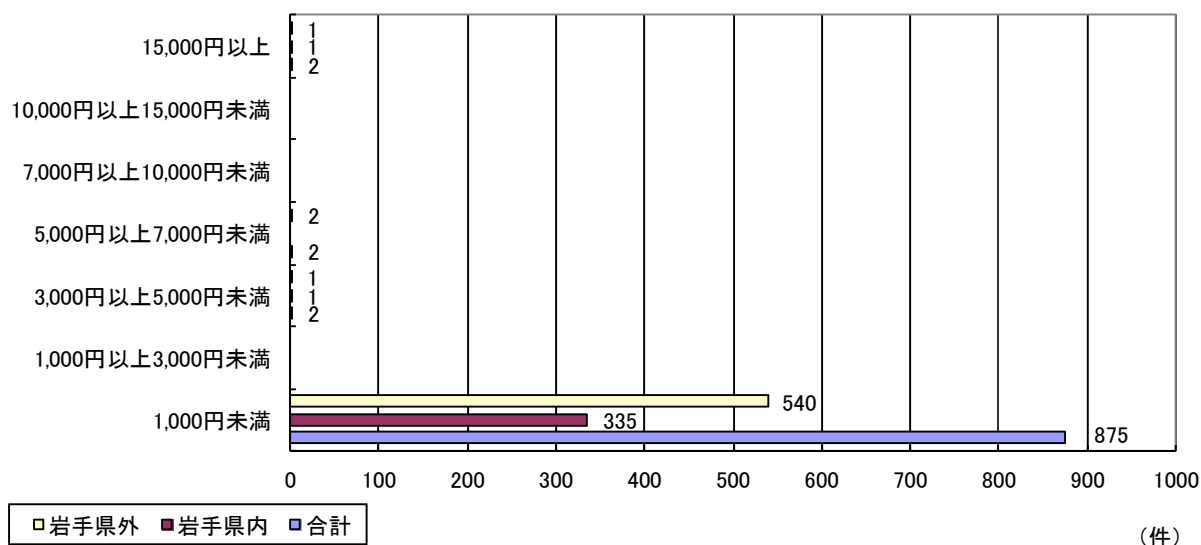
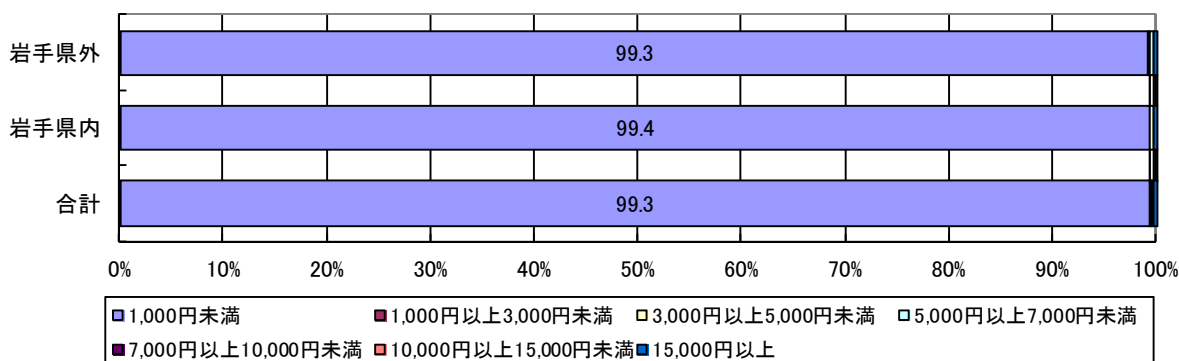


図38 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	99.3%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%
岩手県内	99.4%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
岩手県外	99.3%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%

図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問より、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したものが図40、41である。
この図より、1人当たりのパック料金は、合計では「1,000円未満」が約9割（91.1%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所因する。

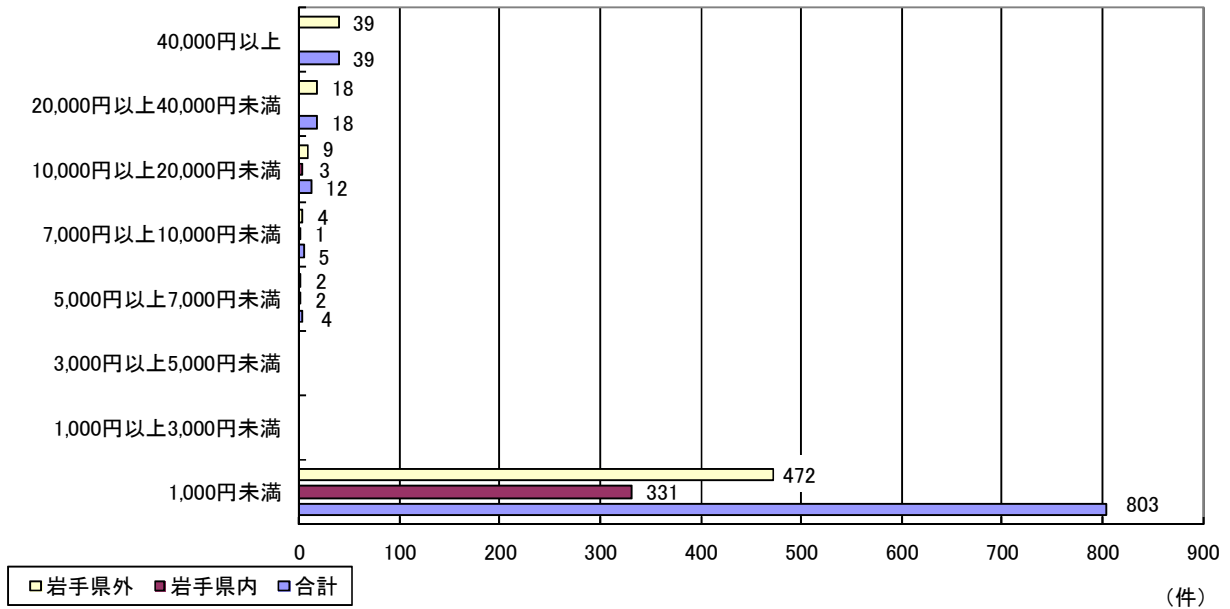
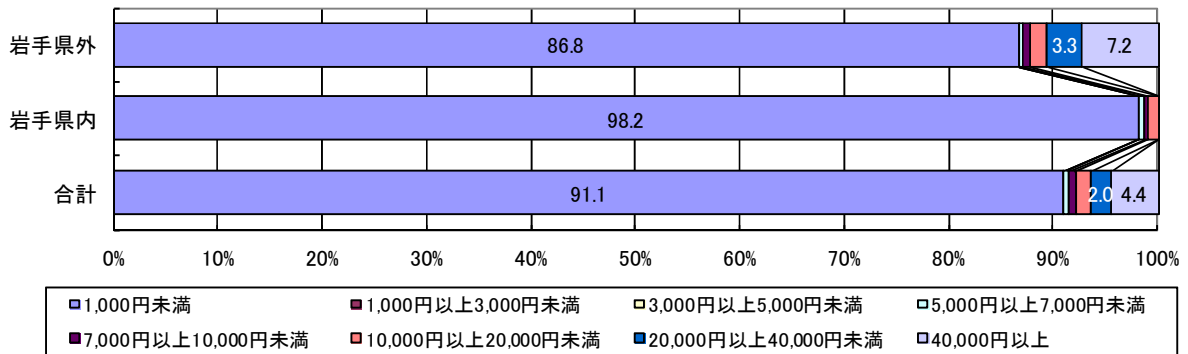


図40 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	91.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	1.4%	2.0%	4.4%
岩手県内	98.2%	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%	0.9%	0.0%	0.0%
岩手県外	86.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.7%	1.7%	3.3%	7.2%

図41 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図40、図41で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計グラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 10,000円未満が5割（50.0%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が約9割である（89.2%）。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の12倍以上であった（県内来訪者：6件、県外来訪者：74件）。

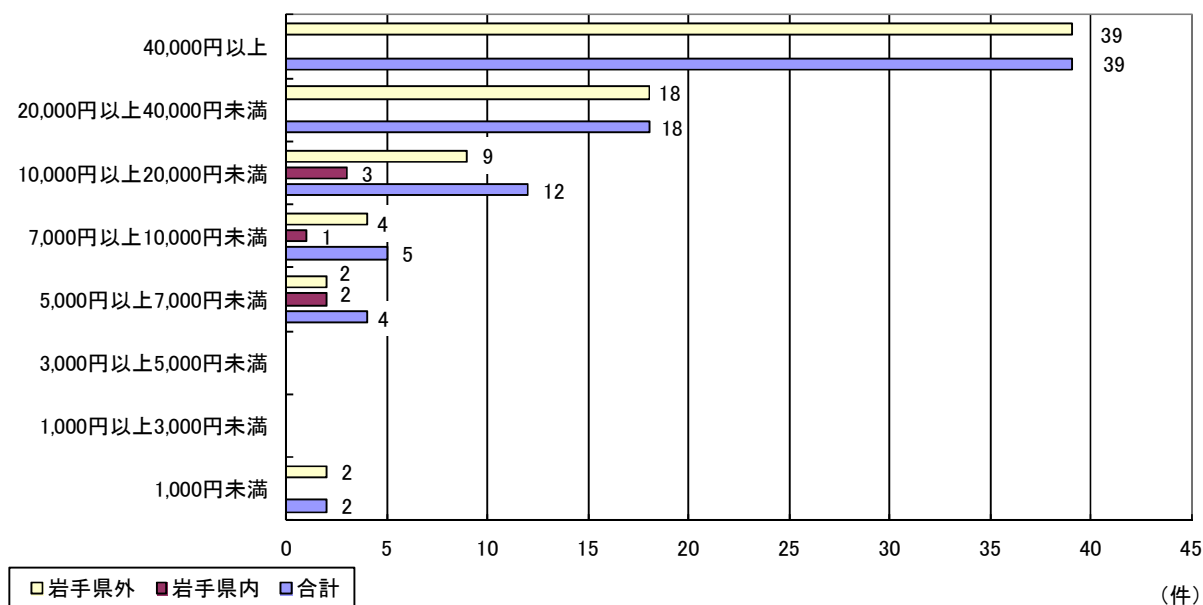
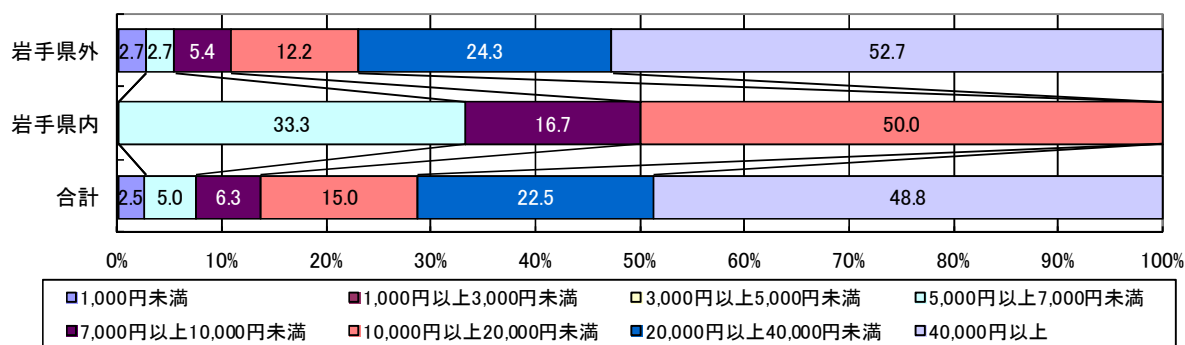


図40-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・件数 パックツアー利用者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	2.5%	0.0%	0.0%	5.0%	6.3%	15.0%	22.5%	48.8%
岩手県内	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	5.4%	12.2%	24.3%	52.7%

図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較 (パック料金・比率 パックツアー利用者のみ)